



▲シンボルマーク

藍色の空と海に集い 絆結ぼう 天草県体

第68回熊本県民体育祭天草大会の大会スローガン・シンボルマークが決まる
 来年9月に開催される「第68回熊本県民体育祭天草大会」の大会スローガンが、平田実さん（上天草市姫戸町）が応募した『藍色の空と海に集い 絆結ぼう 天草県体』に、また、シンボルマークは久保洋さん（南新町）が応募した作品（＝写真）に決まりました。これは、同大会準備委員会が作品を募集し、応募があったスローガンの部530点、シンボルマークの部70点の中から選考委員会の審査をへて決定したもののほか、優秀賞として各部門2点を選考。

8月31日には、同大会実行委員会設立総会の席上で表彰式が行われ、平田さんと久保さんのほか、優秀賞の受賞者が出席。会長の安田市長から表彰状が手渡されました。



▶表彰状を受け取る
平田さん（右）

牛深の宝をいかした振興を！

日韓都市・建築デザインワークショップ

8月21日から同23日まで、「日韓都市・建築デザインワークショップ2012」が牛深総合センターを主会場に開かれました。日本と韓国の大学などで建築や都市計画を学ぶ学生が、牛深地域ににぎわいを生み出すための計画を提案しようと開催されたもの。熊本県立大学や千葉大学などのほか、韓国国立交通大学の学生あわせて30人が参加しました。学生たちは4つのグループに分かれて、漁村集落を通る小路“せどわ”や古い建物が残る牛深町の中心市街地などを散策。23日には同センターで成果を発表し、「もやいの精神でおもてなしを」などの提案が出されました。



▲成果発表を行う学生



▲サプライズゲストとして登場した錦野さん

サプライズゲストに会場は騒然！

御所浦夏まつり

8月14日、「御所浦夏まつり」が嵐口漁民グラウンドで開かれ、住民や帰省者など約2,000人の人出でにぎわいました。御所浦まちづくり協議会と町内の各地区振興会が、NHK福岡放送局などの協力を得て初めて開催したもの。催しでは、地元の嵐口春日太鼓保存会による演奏のほか、盆踊りなどを実施。

また、同放送局の番組の企画として、歌手の錦野亘さんと伍代夏子さんがサプライズゲストとして登場。会場は一時騒然となるも、来場者はお2人による迫力ある歌謡ショーを堪能していました。

お盆の風物詩

大江夏まつり

8月15日、天草町の大江漁港で「大江夏まつり」と銘打ち精霊流しが行われました。これは、大江地域づくり振興会が毎年開催しているもので、お盆の風物詩となっています。

この日、同漁港には、初盆を迎えられた各家庭から、ちょうちんの明かりに包まれた精霊舟11艘が集結。“送り舟”と呼ばれる漁船に積み込まれ、読経の後、花火や爆竹が鳴り響く中、出港しました。



▲出港を待つ参加者と精霊舟



▲“海上ゴザ渡り”のようす

海の上を渡りきれ！

大多尾みなと渡りピックGT

海に浮かぶゴザの上を走る“海上ゴザ渡り（全長25m）”と、海上に設置された綱にぶらさがって進む“海上綱渡り（同15m）”をして、進んだ距離や速さなどを競う「第1回大多尾みなと渡りピックGT」が8月18日、新和町の大多尾漁港で開かれました。これは、大多尾地区振興会が初めて開催したもの。競技には、地元の中学生や市内の住民など19人が参加。みごと完走を果たす人、威勢よくスタートを切るもバランスを崩してすぐに海に落ちてしまう人など、白熱した展開に会場は大いに盛り上がっていました。

天草の大自然がレースの舞台！

天草アウトドアアドベンチャーレース

8月25日、御所浦町の黒島をスタートし、天草最高峰“倉岳（682m）”山頂を経由して倉岳町浦の中浦埋立地にあるパラグライダー着地点をフィニッシュとする全長51kmを、シーカヤック、マウンテンバイク（自転車）、トレイルラン（山中を走ること）、パラグライダーで競う「天草アウトドアアドベンチャーレース」が行われました。これは、同レース大会実行委員会が初めて開催したもの。レースには、単独の部とリレーの部に市内外から52人が参加。選手たちは、過酷なレースながらも天草の大自然を堪能していました。



▲マウンテンバイクからトレイルランへのリレー